

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月28日

上場会社名 **ダイソーケミックス株式会社** 上場取引所 **東**  
 コード番号 **4366** URL <https://www.daitochemix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) **代表取締役 執行役員社長** (氏名) **永松 真一**  
 問合せ先責任者 (役職名) **取締役 常務執行役員** (氏名) **南 修一** (TEL) **06(6911)9310**  
 四半期報告書提出予定日 **2022年2月14日** 配当支払開始予定日 **—**  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**  
 四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,143	19.1	1,476	35.9	1,582	66.0	1,221	59.6
2021年3月期第3四半期	10,198	12.8	1,087	80.7	953	49.4	765	36.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,358百万円(35.1%) 2021年3月期第3四半期 1,005百万円(74.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	113 79	—
2021年3月期第3四半期	71 31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	21,260	13,966	65.7
2021年3月期	18,825	12,758	67.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,966百万円 2021年3月期 12,758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5 00	—	7 00	12 00
2022年3月期	—	7 00	—		
2022年3月期(予想)				6 00	13 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : **有**

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	14.3	1,700	17.8	1,700	38.0	1,400	28.2	130 41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : **有**

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	11,200,000株	2021年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	464,504株	2021年3月期	464,393株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	10,735,524株	2021年3月期3Q	10,735,632株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除されるなど回復基調となったものの、感染力の強い変異株による世界的な感染急拡大、原油高に伴うエネルギー価格や原材料費の上昇など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもとで当社グループは、2020年3月期をスタートとする5ヵ年の中期経営計画における目標達成に向けて、企業体質の強化に努めてまいりました。特に、先端の半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は121億43百万円（前年同四半期比19.1%増）、経常利益は15億82百万円（前年同四半期比66.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億21百万円（前年同四半期比59.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は前期末比24億35百万円増の212億60百万円となりました。流動資産は前期末比12億58百万円増の115億96百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加8億41百万円、棚卸資産の増加7億48百万円、現金及び預金の減少3億49百万円であります。固定資産は前期末比11億77百万円増の96億64百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加9億65百万円、投資有価証券の増加3億3百万円であります。

負債合計は前期末比12億27百万円増の72億94百万円となりました。主な要因は、未払金の増加8億91百万円、支払手形及び買掛金の増加5億41百万円、賞与引当金の減少1億39百万円、社債の減少1億26百万円であります。

純資産は前期末比12億7百万円増の139億66百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加10億71百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億42百万円であります。

これにより自己資本比率は65.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年1月28日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,254	2,904
受取手形及び売掛金	3,766	4,607
商品及び製品	704	628
仕掛品	1,411	1,745
原材料及び貯蔵品	1,111	1,602
未収入金	52	51
その他	37	57
流動資産合計	10,338	11,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,408	1,350
機械装置及び運搬具(純額)	871	872
土地	2,816	2,820
その他(純額)	353	1,370
有形固定資産合計	5,449	6,414
無形固定資産	125	79
投資その他の資産		
投資有価証券	2,754	3,057
その他	157	112
投資その他の資産合計	2,911	3,170
固定資産合計	8,486	9,664
資産合計	18,825	21,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169	1,711
短期借入金	1,000	1,000
1年内償還予定の社債	189	189
1年内返済予定の長期借入金	648	450
未払法人税等	197	258
賞与引当金	336	196
役員賞与引当金	37	51
未払金	573	1,464
その他	331	305
流動負債合計	4,484	5,626
固定負債		
社債	457	331
長期借入金	970	1,110
退職給付に係る負債	34	34
その他	120	192
固定負債合計	1,582	1,668
負債合計	6,066	7,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	4,795	5,866
自己株式	△248	△249
株主資本合計	11,868	12,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	877	1,019
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	12	6
その他の包括利益累計額合計	889	1,026
純資産合計	12,758	13,966
負債純資産合計	18,825	21,260

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	10,198	12,143
売上原価	8,346	9,797
売上総利益	1,852	2,345
販売費及び一般管理費	765	868
営業利益	1,087	1,476
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	31
不動産賃貸料	11	10
持分法による投資利益	—	96
雑収入	27	32
営業外収益合計	68	171
営業外費用		
支払利息	15	16
為替差損	2	14
持分法による投資損失	166	—
固定資産除却損	5	29
雑損失	12	5
営業外費用合計	202	65
経常利益	953	1,582
税金等調整前四半期純利益	953	1,582
法人税等	187	361
四半期純利益	765	1,221
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	765	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	142
繰延ヘッジ損益	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	△5
その他の包括利益合計	240	136
四半期包括利益	1,005	1,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005	1,358
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、日本エコロジー(株)における一部の産業廃棄物処理における収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における日本エコロジー(株)の役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先等に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(韓国における持分法適用関連会社の保険金受領)

当社の韓国における持分法適用関連会社のDAITO-KISCO Corporation(決算期12月)において、2019年12月に発生した火災に係る保険金の一部を2021年3月に受領しております。これによる当社連結業績への影響は以下のとおりであります。

・2022年3月期への影響

DAITO-KISCO Corporationにおいて、受取保険金として計上した60億ウォン(5億76百万円)に対する持分(50%)相当額を営業外損益の「持分法による投資損益」の増益項目として計上しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	9,122	1,076	10,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	76	77
計	9,123	1,152	10,276
セグメント利益	943	135	1,078

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,078
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,087

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	10,962	1,180	12,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	30	30
計	10,963	1,211	12,174
セグメント利益	1,260	205	1,466

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,466
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,476

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。